

令和元～2年度 長期総合計画 検証シート

施策No. 施策名		施策52 資源循環の促進				主管	環境清掃部 清掃リサイクル課	
施策の概要	基本目標	基本目標4 誰もが誇りや憧れを抱く安全安心で快適なまちの実現						
	10年後の 目指す姿	●区民や事業者の再利用、再生利用に対する意識が向上し、資源の分別の徹底とより一層の資源化が促進されています。						
	主な取り組み	①	家庭ごみ、事業系ごみの資源化の促進			③	燃やさないごみ、粗大ごみの適正処理の促進	
		②	自主的な資源回収活動の支援					
*施策を構成する行政計画事業の進捗は、裏面「行政計画事業」を参照。								
施策の執行状況	施策の指標	指標名	策定時 (2018年度末)	R元(2019) 年度末	R2(2020) 年度末	目標		出典
		資源回収率	21% (2017年度)	22.9% (2019年度)	24.3% (2020年度)	2023年度末	2028年度末	
		ごみ減量・リサイクルを意識し、積極的に実施している区民の割合	—	48%	— (調査未実施)	55%	60%	所管課調べ
検証結果	B	(施策及び施策の指標の実績、構成する行政計画事業の進捗・成果・課題等を踏まえ、長期総合計画一部修正(ポストコロナ)を見据えて取り組みを検証)						
		<施策の概要> 資源回収拠点を設置し、家庭ごみの資源化を図るとともに、区民の自主的な資源回収活動が継続できるよう「集団回収支援」を実施している。また、粗大ごみのうち小型家電などの資源化可能なものを選別し資源化する体制を整備することにより、区民によるリサイクル活動の推進を図っている。						
		A 順調である	<施策の指標> ・資源回収率(×) ・ごみ減量・リサイクルを意識し、積極的に実施している区民の割合(×) 資源回収率については策定時より上昇しているが目標達成には至っていない。目標の達成に向け、ごみだけでなく資源の発生抑制も図ることで、分別の徹底と一層の資源化の促進につなげていく。					
		B 概ね順調である C 順調でない	ごみ減量・リサイクルを意識し、積極的に実施している区民の割合については、目標達成には至っていない。目標の達成に向け、パートナーシップの構築や環境学習の推進に取り組み、分別排出の徹底につなげていく。					
<今後の方向性> ・資源の分別排出の必要性を周知するとともに、より効率的・効果的な収集・排出指導体制が図れるよう、適宜見直しを行い、ごみ・資源を排出しやすい環境を整え、適正な分別・排出や資源化の促進につなげていく。 ・「集団回収支援」は、ごみ減量や資源の有効活用だけでなく、地域コミュニティの形成、持ち去り防止対策等、様々な効果がある。そのため、ポイント型集団回収を含めた集団回収が持続的に発展していくよう、事業を展開していく。								
施策を構成する行政計画事業の進捗								
	(事業No.) 行政計画事業名	所管課	本事業の取り組み (平成30年度事業量)	計画事業量	年度別 事業計画	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (実績は見込み)
1	資源回収	清掃リサイクル課	資源回収 (実施)	実施	目標	実施	実施	実施
					実績	実施	実施	実施
2	集団回収支援	清掃リサイクル課	集団回収支援 (8団体) (累計464団体)	30団体 累計494団体	目標	10団体 累計474団体	10団体 累計484団体	10団体 累計494団体
					実績	7団体 累計471団体	13団体 (既存の2団体が活動休止) 累計482団体	12団体 累計494団体
3	粗大ごみの資源化	清掃リサイクル課	新たな処理方法の構築 (検討)	検討・実施	目標	検討	検討	実施
					実績	検討	検討	実施
4	集合住宅へのごみ排出抑制の促進<再掲>	台東清掃事務所	集合住宅への排出指導棟数 (実施)	年330棟	目標	330棟	330棟	330棟
					実績	436棟	270棟	330棟
5	事業系ごみの排出指導<再掲>	台東清掃事務所	指導調査 (120事業所)	年120事業所	目標	120事業所	120事業所	120事業所
					実績	129事業所	140事業所	120事業所
		台東清掃事務所	廃棄物管理責任者講習会 (3回)	年3回	目標	3回	3回	3回
					実績	3回	0回	2回